

現代の子に欲しこころ

やがてやって来る二十一世紀の主役となるべき「現代っ子」について、世間では様々なことを言っています。「からだ」ばかりが成長して、体力やねばり、そして思いやりの心などが不足して、しかも自分勝手である等々……

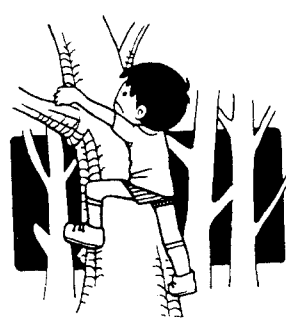
この「現代っ子」がそのまま成長して、やがて社会の責任ある地位についた時、その社会を考えると、憂慮の念で一杯です。
しかしよく考えると、こうした「現代っ子」を育てて来たのは、私たち大人の責任であることも確かです。
三浦清一郎先生は、その著書の中でこんなことを主張されています。

子どもの「社会化」

社会化とは、子どもたちがその社会のメンバーとなるための知識・技能・態度等を修得していく過程のことであって、社会化は個人の所属する集団や人間関係によって培われていくものであるが、「現代っ子」の周辺を見る場合、決して喜ばしい社会化が培われる状態にはありません。子どもたちの社会化を遅らせているものは、いろいろな『体験』の不足であって子

どもがやがて立派な社会人となるためには、この『体験』の場を用意してやるのが重要なことです。

「現代っ子」に欲しい いろいろな『体験』



◆自然への接触体験不足

人間を取り巻くいろいろな環境の変化は、私たちを自然から遠ざけています。秋の七草はすらすらと言えても、どれが「おみなえし」であるかは知らない。人間は自然と共に生きていたのであって、自然は一級の教師であり、教材でもあります。

自然の中で山川草木・花鳥風月に接することが、やがて自然を愛し、自然保護・環境保全の態度へと発展するもので、特に現代の都市化の子どもの中には、この自然への接触体験が大切です。

◆異年齢集団の体験不足

同年齢集団と違って、自分より上・下の年齢の子どもたちの接触体験をすることにより、協調・協力・思いやりの心・他人への配慮の態度等々のことが身につきます。

各育成会における「子どもクラブ活動」等は、まさに大切な異年齢集団の接触体験場所です。

◆自発的活動体験の不足

過保護、過干渉により、子どもの自主性が幼少から阻害され、また子どものまわりには、豊富な物資・玩具等があふれ、自発・自主の体験は不足して、自分から物事を成し遂げようとする態度が育たない。

◆勤労体験、社会参加体験の不足

家庭における勤労分担や、地域にあって奉仕活動もあまり体験しない（過保護等による）生活しているため、これらへの体験不足が生じて社会性も育たない。

◆困難への体験不足

恵まれ過ぎる環境と、間違った親の子への愛情（子どもへは、苦労させたくない考え）により、困難に對した時すぐにへこたれたり、つぶれてしまう。

以上三浦清一郎先生の論調の一部要点を書いてきましたが、こうしたことを考えるとき、地域社会の連帯性をより強化しながら、個々の家庭の子育ての基本に目を向け、「基本的な生活行動」をじっくりと身につけさせながら、地域全体として、「現代っ子」の健全

育成に取り組むことが必要でしょう。それには、

- ☆子どもクラブ（子ども会）の組織化と、その活動推進を図る。
- ☆ジュニアリーダー等の研修活動への積極的参加
- ☆奉仕的活動の実践、地域の環境美化へ目を向ける。
- ☆自然への接触の機会を多く体験する。
- ☆じっくり見守り、困難を乗り越える体験をさせる。
- ☆子どもたちに考えさせ、子どもたちに解決させる体験をする。

等々のことが考えられますが、要は社会人となって、一家のために、社会のために立派な行いができる人間になることで「三つ子の魂百までも」の言葉のように、小さい時の「体験」（体で覚えたこと）は、一生身につけています。

ふるさと納涼会(盆踊り)開催

市民のふるさと意識の高揚を目的として、ふるさと納涼会を実施することになりました。市民の皆さんの参加をお待ちしています。また、盛大に開催するために練習も行っています。

日程 8月14日(金)・15日(土)
両日も午後7時30分より
場所 谷一小グラウンド
練習日 6月9日(火)・23日(火)・
7月8日(水)・22日(水)・

『八朔 in つる '92』 第一回実行委員会

色とりどりの紫陽花が咲きみだれる今日この頃、皆さんいかがお過ごしでしょうか。
皆さんに育まれて大きくなって参りました『八朔 in つる』も、今年で第13回目を迎えることになりました。『八朔 in つる』事務局では、『八朔 in つる '92』を多くの方々と共にくりあげていきたいと考えています。

第一回実行委員会の日程は次のとおりです。たくさんの方々参加をお待ちしています。
日時 6月8日(月)
午後8時～10時
場所 農協会館3階小ホール
連絡先 ☎(45)6829 宮原



8月7日(金)総練習
※いずれも文化会館で午後7時30分より練習をしています。
主催 ふるさと納涼会実行委員会